

平成23年度 藤沢市公益的市民活動助成事業 決定一覧表

初期コース

(円)

No.	団体名	事業名	計画概要	事業費	助成申請額
1	六会ささえるの会	認知症サポーター養成講座	<p>* 2005年が厚生労働省が始めた「認知症を知り地域を作る10ヵ年」キャンペーンの一環として、認知症サポーター養成講座の講師があつまって「六会ささえるの会」を立ち上げ、一人では出来ない講座依頼も相互に協力して年間34回(講座参加者約1100名)の講座を開催した。これを継続していきたい。</p> <p>* 世代間交流の企画・実施・支援をし、高齢者と子供とのオモチャつくり・遊びつくり等の共生の場を作る。</p> <p>* 認知症の方の杖となり、車椅子となり、本人と家族を地域で支えるネットワークつくりを模索する。</p>	145,000	100,000
2	ぶらり鵠沼編集委員会	地域密着型 ミニコミ誌「ぶらり鵠沼」発行 事業	<p>シニアが作るシニアのためのミニコミ誌の発行 鵠沼在住のシニアにとって有益と思われる情報(生きがい・健康・防災・文化・歴史・食の楽しみ・ネットワークづくり等)を、シニア自身が取材、編集しミニコミ誌という形で定期的に提供して行く中で、次のような効果を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 シニアの視点で地域の抱える問題点を発掘し、その解決策を考える機会を作る。</li> <li>2 シニア世代を孤立させないために、他世代との交流ネットワーク作りを図る。</li> <li>3 活動の継続のため、協力者(会員)の増強・増員を図る。</li> </ol>	324,000	100,000
3	paw pads ～湘南いぬ・ねこの輪～	飼い主のいない犬猫の保護及び新しい飼い主を探す事業	<p>ペットブームの一方で乱繁殖や身勝手な人間により棄てられた犬猫も後を絶たない実態を社会に投げかけると共に、行き場のない犬猫を保護し、適切且つ愛情ある飼育者の下へ再び送り出すことを目的とする。殺処分対象となる犬猫を動物愛護センター等からレスキューし、保護家庭にて適切な医療や飼育・ケアを行いながら、新たな飼い主を見つけるため、定期的に里親会を実施している。同時に、同じ事態を招かぬよう、更に人間と動物との共生がより豊かなものになるよう、譲渡家庭・これから犬猫の飼育を検討している人や一般の飼い主へも、専門家の協力を得て、しつけ・飼育相談・飼育マナーの啓蒙等サポート活動を実施している。</p>	1,245,200	100,000
4	ねこきちの会	猫の殺処分ゼロを目指すTNR(飼い主のいない猫問題の解決法)事業	<p>目的:猫の適正飼育を普及啓発し、飼い主のいない猫や捨て猫を減らし、殺処分ゼロを目指し、人と猫との共生を図る。また、TNR事業を通じて、市民と行政とのつながり、市民間でのコミュニケーションを形成することができ、自治活動を活性化させる。</p> <p>内容:目的を達成するために、TNR事業を行う。併せて、TNR事業に付随して起こり得る疾病、負傷猫の保護や治療、飼い主のいない猫の保護、里親探し等を行う。また、殺処分ゼロを達成すると、多くのCO2排出削減が可能となり、地球を救う結果ともなり、より豊かなまちづくりの推進と、健全な市民生活を営むことが出来るように、TNR事業に継続的、発展的に取り組んでいく。</p>	200,000	100,000
5	(特非)地球市民友の会	語学教室(日本語教室) 事業	<p>湘南地域では、ここ数年、特に中南米からの労働者や居住者が急増。その結果、言葉や生活習慣の違いから職場や学校など地域社会にとけ込むことが困難であったり、子どもの教育に支障をきたすといった問題が発生。これは外国籍の人たちだけの問題ではなく私たちの地域の問題でもあり、日本の今と将来に関わる問題でもある。そうした外国籍の人達が日本の文化を理解し且つ地域に溶け込むための支援として、地域に住むボランティアを中心に幾つかの活動を行っているが、その中の主活動である日本語教室事業費に関わる補助申請を行うもの。</p>	271,600	100,000
合計			5団体	2,185,800	500,000

発展コース

(円)

No.	団体名	事業名	計画概要	事業費	助成申請額
1	(特非)市民農園を 拡げる会	福祉農園事業	(事業目的) 藤沢市にも遊休農地が存在します。(耕地の約7% 73Ha) 社会共通資本を利用しないのはモッタイナイ。当会はこれまでの市民農園事業に加えて、新たにNPO法人として農業参入し、福祉農園として活用します。健康福祉への貢献と遊休農地解消、環境保全の分野で地域の活性化に貢献します。 (内容)福祉施設利用者(障がい者、高齢者、児童等)の園芸利用目的に活用して、心身のリハビリに役立てて貰います。(楽しみと心の癒し)当会は収穫体験や栽培体験の場を提供します。	414,000	200,000
2	藤倶楽部	境川フジ水辺ロード事業計画	2009年度実現した「引地川・フジ史跡ロード」は2010年度、公園を管理する業者への剪定技術の講習の成果により、多くの公園で今までよりきれいな花を咲かせることが出来た。さらに、タウン誌等に取り上げられ市民の関心を得ることが出来た。 本年度、市内のもう一つの川、境川のフジの花のきれいな公園、神社、遊行寺等の寺院を結び「境川フジ水辺ロード」の事業計画を遂行する。これにより引地川沿いのロードと境川沿いのロードを合わせ線から市内全体の面への展開に発展する。その結果、私たちの活動目的である市民のフジへの愛着度を高めると共に、市民の憩いの場の充実を図ることが出来る。	208,000	100,000
3	NPO法人 藤沢市聴覚障害者 協会	聴覚障害を正しく理解してもらい、聴覚障害者と健聴者との交流を図る事業	前年度の事業の経験と反省を生かし、今年度は事業を発展させ当団体だけではなく、西浜サーフライフセービングクラブと一緒に、聴覚障害者と健聴者の交流できる場所を作り、見えない障害と言われている聴覚障害を正しく理解してもらい差別の無い社会にしていけるよう取り組んでいく。 西浜サーフライフセービングクラブの指導の下、普段は体験できない心肺蘇生・AED・応急手当・レスキュー体験・ビーチフラッグス大会を実施する。聴覚障害者と健聴者の交流・親交のため、ビーチクリーン・地引網を開催する。 聴覚障害者を理解してもらうことと、聴覚障害者の言語である手話の普及を図る為、手話教室を開催する。	216,000	171,000
4	(特非) くらし・環境・再生 ネットワーク	衣類の再利用についての周知事業	現在行われている資源ごみ回収の衣類の部分に関し、市民と事業者の協力で減量できる事を、地域市民と共に学習・体験できる機会をつくる。また環境にやさしい生活のあり方についても考えるフォーラムの開催としくみを知らせる資料の作成。	182,000	91,000
5	藤沢ジュニアオー ケストラ	藤沢ジュニアオーケストラ 第29回定期演奏会	目的:8歳から23歳までの青少年を対象としたオーケストラ。日常の練習や、合宿、強化練習などを経て毎年1回定期演奏会を開催。年齢も学校も違う団員達が、共に音楽を作り出すことを通じて、色々な仲間と理解し合い、思いやる気持ちを養う。 地域の方に広く活動を知って頂き、子供たちの演奏を通して音楽に親しむ機会を提供する。 内容:オーケストラ活動(今回申請は定期演奏会) 出演:指揮/岩村力 当団団員など 演奏曲目:シュトラウス:こうもり序曲/オッフェンバック:天国と地獄:マスカーニ/カバレリア・ルスティカーナ/イタリア奇想曲/ベートーベン:交響曲第6番「田園」/モーツァルト「魔笛」序曲等	1,200,000	400,000
6	キャンドルナイト湘 南台	地域協働キャンドルナイト事業	本会は活動における目的を、「でんきを消してキャンドルのあかりで過ごす時間・空間を作ることで、ライフスタイルについて考えるきっかけとすること」、「地域における資源の有効利用」、「世代や立場を越えた交流の場の創出」、「キャンドルづくりを通じた障がい者の社会参加を実現すること」とし、①湘南台地域を中心とした藤沢市内の商店や公園、大学内におけるキャンドルナイトイベントの開催②福祉作業所によるキャンドル製作事業を通して、障がい者の社会参加の実現③商店街から出た廃油や、結婚式場・斎場の廃棄予定のろうを使用したキャンドル作り、家庭から出た牛乳パックを用いたランタン作りなどの、リサイクルワークショップを行う。	374,500	150,000
7	江の島みちル ネッサンス推進会 議	グリーンズタイル・アートタイル設置活動	グリーンズタイルはボタニカルアート、歴史絵、世界の名画、動物画等を使用して装飾タイルを制作し、特定エリアの壁面に調和とストーリー性のある形で設置されます。 活動は江の島みちルネッサンス推進会議(略称みちルネ)が絵画所有者、エリア管理者、支援者の協力・支援を得て協働設置し、グリーンズユニット、グリーンズピアリー活動と連動して「緑とアートな街づくり」を目指します。	900,000	400,000
8	湘南にドッグランを 作る会	人と犬の共生するまちづくり 事業	当会はドッグランの設置と飼い主のマナー向上を目指し活動する。 ドッグランは単なる犬を自由に遊ばせる為の場所ではなく、利用登録を行い、公園内に拡散している犬連れの利用者を囲い込み、住み分けを実現できる。 また管理運営側は継続的なマナー向上のための啓蒙活動の拠点とすることで、意識の高い飼い主を増やすことができ、苦情やトラブルの減少に寄与できると考える。 以上よりドッグラン設置は、犬を飼う人と、そうでない人との共生するまちづくりへの現実的な足掛かりとなると考え、目的とする。 実施内容:飼い主のマナー向上を目的とした啓蒙活動と、ドッグランの必要性のアピール活動。	352,000	176,000
	合計		8団体	3,846,500	1,688,000